

住民登録

8月1日現在

前月比
 人口 72,570 (+68)
 男 34,693
 女 37,877
 世帯数 20,171 (-17)

大 報

おおだて

9月号 (No.230)

編集と発行 — 大館市役所 (電話) 42-1212
 発行年月日 — 昭和51年9月1日
 発行日 — 毎月1日

広報紙は、行政協力員を通じて全世帯に配布しています。届かなかったり、配布が遅いときは、総務課秘書広報係へご連絡ください。

昭和43年3月1日第3種郵便物認可 (1部5円)

10万人の人出でにぎわった夏まつり

8月6日、前日以来の雨も、夏まつりを祝福するかのように晴れあがったさわやかな夏空の下、多彩な行事がにぎやかに繰り広げられました。

午前11時、花火の打上げと同時にテープカット、そして、桂城小、城雨小のトランペット鼓隊の行進で幕を開けた歩行者天国では、郷土芸能の「獅子舞」と「大館ばやし」で観客の目を楽しませ、つづいて星の主な行事である約2,500人の群舞「大文字踊り」が歩行者天国いっばいに繰り広げられ、そろいの浴衣にそろいのうちわで踊るその優美さに見物客は盛んに拍手を送っていました。このあと大町中央通りは「子供天国」へと変わり、竹馬や金魚すくいに興ずる子供たちや、また、路上にチョークで自分たちの夢を描いた傑作も誕生するなど、その日ばかりは車の心配もなく子供たちは思いっきり遊び回っていました。

夜に入り、主会場は長木川原へと移り午後7時からは花火大会として灯籠流し花火踊りとつづき、8時には日本一の規模を誇る「大」の火文字が鳳凰山山腹に浮かび上がり、その雄大さに観客席からは「おう、スゴイ！」との声とともにどよめきが起りました。夜空を彩る光と音の響宴は約2時間にわたって行われ、午後9時ごろ、昼夜合わせて10万人の人出でにぎわった第9回目の夏まつりの幕を閉じました。

< 写 真 >

- (上) 約2,500人の群舞「大文字踊り」
- (左) 「子供天国」で遊びに興ずる子供たち
- (右) 夜空をこがす花火と日本一の鳳凰山火文字 (沼館地区より)



「読書感想文」を募集します

第7回大館市民読書感想文を次の要項によって募集します。今回から新たに学生の部を設けました。皆さんの読書を一層深く、より豊かなものにするため、奮ってご応募ください。

< 読 書 感 想 文 募 集 要 項 >

- ① 応募資格 高校生以上の大館市民であること。
- ② 課題図書 課題図書(次の3冊)と自由選択図書のいずれでもよい。
 イ 風立ちぬ(堀辰雄著、新潮文庫ほか)
 ロ 限りなく透明に近いブルー(村上龍著、講談社)
 ハ からゆきさん(森崎和江著、朝日新聞社)
- ③ 枚 数 400字詰原稿用紙5枚以内(本文5枚以上は認めません)
- ④ 審 査 応募作品は学生の部、一般の部に分けて、次の審査員が審査します
 荒谷 浩(県社会教育課参事)菅原 寛(大館簡易裁判所書記官)
 小林繁春(能代高等学校長)木村 茂(栗盛記念図書館長補佐)
- ⑤ 賞 優秀作、佳作に賞状および賞品を贈る(学生の部も同じ)
 1席 1名(5,000円図書券) 2席 1名(3,000円図書券)
 3席 1名(2,000円図書券) 佳作 2名(1,000円図書券)
- ⑥ 発 表 入賞者の発表は、読書期間中(10月27日~11月9日)に直接

- ⑦ 締 切 日 10月10日(日)までに必着のこと。
- ⑧ 提 出 先 市内谷地町13 市立栗盛記念図書館内「第7回読書感想文係」宛
- ⑨ 注 意 事 項 作品提出の場合、次のことを別の原稿用紙に記入し、作品の上に張付けること。
 (a) 題名 (b) 住所 (c) 氏名 (d) 性別 (e) 生年月日(満年齢)
 (f) 職業又は学校名と学年 (g) 電話番号 (h) 本の題名、編著者又は訳者、発行所
 ・応募作品は未発表のもので1人1編に限ります。
 ・応募作品は理由を問わず返却しません。
 ・必ず原稿用紙を使用し、ペンで清書してください。

※お問い合わせは栗盛記念図書館(電話42-2525)へ